

加須学校給食センター 1月の献立紹介

○全国学校給食週間

学校給食は、明治22年、山形県鶴岡市の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちのために、お坊さんがお昼ご飯を出したのが始まりだと言われています。

戦時中は中断されましたが、戦後の昭和21年12月24日から、東京・神奈川・千葉ですべての子どもを対象に、学校給食が再開しました。

国はこの再開を記念して、冬休みと重ならないように、1か月後の1月24日から30日の1週間を「全国学校給食週間」としました。

(小9日、中9日)

○春の七草

「春の七草」は、せり、なすな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すすな、すすしろの7種類をいいます。中でも「すすな」は「かぶ」、「すすしろ」は「だいこん」のことで、その他は水田の周りなどに生える雑草です。

これら7種類を刻んでお粥に入れて食べるものを「七草粥」といい、お正月があげた1月7日の朝に食べます。

七草粥は、もともと中国の風習だったものが、千年以上も前に日本に伝わり、邪気を払い、万病を防ぐという縁起を担ぐ意味や、おせち料理で疲れた胃腸を労わる意味などが込められている日本の行事食です。

(小29日、中26日)

○埼玉西武ライオンズ応援献立

埼玉西武ライオンズの選手なら一度は食べたことがあるという、若獅子寮の名物「若獅子カレー」を加須市の学校給食で初めて提供することになりました。

若獅子寮は、埼玉西武ライオンズの新人、若手選手の寮です。

今回、西武ライオンズ全面協力のもと、選手たちが若獅子寮で実際に食べているカレーのレシピをご提供いただきました。

給食では、みなさんが食べやすいように鶏肉を使用し、カレーのルーの配合も調整して仕上げました。

試合などでベストなパフォーマンスを発揮するためには、日々の練習はもちろんのこと、食事や睡眠も同じくらい大切です。